

四月例会 御案内 (平成三十年)

(通算第六八四回)

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

四月十七日(火)十一時半より入館可、正午〜午後二時

参議院議員会館地下一〇九会議室

講師 安倍内閣の「内憂外患」のゆくえ

◎ いま世界は、アメリカ、イギリス、EUによる「経済制裁」の動きにおののいている。ロシア

プーチン政権も、数年前、ウクライナのクリミア半島に攻め込み占領したため、アメリカをはじめEU諸国から経済制裁を受け、かなり経済的に苦勞している。北朝鮮も長年にわたり核開発し、長距離ミサイルを発射して、世界から経済制裁を受け、疲弊している。

近年、特に、アメリカファーストを標榜するトランプ大統領がこの手段を活用し、TPPからの撤退ばかりではなく、前述の北朝鮮へは、この経済制裁を最大限活用している。そして、特にアメリカ経済の再生・活性化のためとして、中国を名指しで、鉄鋼・アルミニウムをはじめ中国からの輸入品に二十五%もの関税をかけることと宣言。日本をも例外としないという。これに対して報復として中国もアメリカからの商品に同様二十五%の関税をかけるとしている。

□ ところで、今回は「貿易戦争」に突入する勢いだ。貿易立国の日本は、どうすれば良いか？
そこで、今回は、今井激先生に御講話いただきます。奮っての御参加お待ちしております。(清原記)

当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。

公益財団法人 協和協会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

四月十七日(火)の月例会に

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

電話 03-3581-1192

FAX 03-3507-8587

御芳名

当日連絡先 080-8836-6203 重田

貴方様のFAX

メール

080-9292-2620 高津

(メール不可・通話のみ)

▽四月十三日(金)までに欠の御連絡賜りたく。

◎ 御報告

昨年、北朝鮮の核開発・長距離ミサイル発射、それに対する韓国・文在寅政権の融和政策、さらには中国の影響力と独裁政権化等々、月例講話会は東アジア情勢の分析が続いたので、何か別の課題を、と考えておりましたところ、監査役の佐藤俊男先生(税理士)から、東大医学部教授や都立駒込病院副院長をされた癌治療の権威・帯津良一先生を御紹介したいという御幹旋があり、書かれた大層お忙しいと仄聞して、御遠慮していただきたいと思っておりましたが、百冊もの著書を三月二十七日(火)、「これぞ、究極の長寿法!」と題して、御講話いただきました。

帯津良一先生のお話の要旨は、東大病院、都立駒込病院で、長い年月、癌の外科手術をしてきて、癌の患者に対しては、単に手術だけでなく、心とからだの両面からの治療が大切だと考え、その後、埼玉県川越市で、帯津三敬病院を開設してからは、外科手術ばかりではなく、患者の「心・気・霊性・自然治癒力」を総合的に考える「ホリスティック医療」を行っている。さらに「西洋医学だけではなく、中国医学やインド医学や代替医学をも取り入れている。また、日常の食事や「心の持ち方」も大切だとされ、お話をうかがって、「名医のあり方はかくあるべし」と感銘し、大層勉強になりました。(清原記)

▽ 当「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五〇六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は桜内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣・現議院運営委員会理事が就任している。

▽ 事務局電話 (03) 3581-1192

代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津